



報道機関各位

武庫川女子大学附属図書館が AI 顔認証入退管理システムを導入

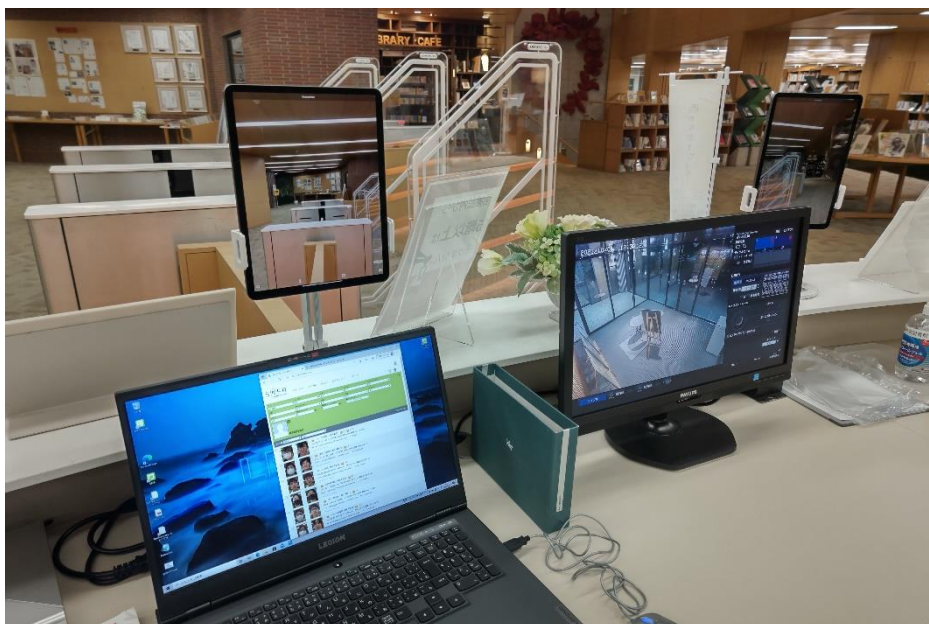
武庫川女子大学附属図書館は、COVID-19 対策を含むリスクマネジメントの強化と、生涯学習支援のさらなる充実のため、NTT ドコモの AI 顔認証入退管理システム「SAFR」を導入しました。

武庫川女子大学附属図書館は、学生の教育や教員・大学院生の研究を支援するだけでなく、生涯学習の場としても重要な施設です。同システムを導入する中央図書館（中央キャンパス）は現在、西宮市内在住・在校の中学・高校生のほか、本学の卒業生、西宮市教育委員会の教職員、連携協定校など学外にも一般開放しています。これまで学外者は共用カードをゲートの読み取り機にかざして入退館していましたが、滞在履歴までは把握できませんでした。新型コロナウイルス感染拡大を受け、徹底した書籍の消毒やソーシャルディスタンスを保つ工夫で感染防止を図っていますが、不特定多数が頻繁に利用する施設であるだけに、感染予防にとどまらず、より広くリスクマネジメントを強化するため、利用者の詳細な把握が課題になっていました。顔認証システムの導入により、地震や火災発生時などの緊急事態においても館内の滞在状況が即座に確認できます。

SAFR は Real Networks 社が開発した顔認証ソフトウェアで、機械学習によってマスクをした状態でも認証が可能です。図書館ではこのデータから利用状況を分析し、より高度な学習環境の構築や生涯教育の施策の実現を目指します。SDGs の目標の一つである「質の高い教育をみんなに」にもつながるこの取り組みを通し、武庫川女子大学では、地域社会へのさらなる貢献に取り組んでいきます。

この件に関するお問い合わせは武庫川女子大学附属図書館(0798-45-3532)までお願いします。

中央図書館に導入された AI 顔認証入退管理システム





武庫川女子大学附属図書館（中央図書館）